

第1回

日本薬学会北海道支部主催

若手シンポジウム



12/20 水

13:30 START

北海道大学薬学部

第1講義室

(参加費無料)

本シンポジウムは、「薬学」の発展に貢献する薬剤学/細胞生物学/マテリアル工学/イメージング解析学/ケミカルバイオロジー学/薬物治療学などの領域で活躍する若手研究者をシンポジストとして招聘します。若手研究者・大学院生・大学生はもちろん、一般市民の聴講も可能です。「薬学」に関わる多分野の研究者が集まり、活気にあふれたディスカッションの場を提供することで、新たな共同研究が多数生まれる事を目指しています。また、大学院生・大学生の研究活動への意識に大きなインパクトを与え、次世代を担う研究者として進んでくれる事も期待しています。本シンポジウムは薬学会北海道支部主催事業の一環として開催し、究極の目標は

『北海道発・世界初の
研究・技術・創薬』です。

さらに、このシンポジウムを通じて薬学会が国民・社会へもたらす効果を伝えられると確信しています。

13:30-13:40 開会の辞・趣旨説明 山田勇磨 (北海道大学)

13:40-15:10 session1 座長：中村孝司 (北海道大学)

新概念の標的化DDSによる免疫疾患治療 - 清水広介 (浜松医科大学)

機能性脂質を基盤としたin vivo核酸送達システムの開発

- 佐藤悠介 (北海道大学)

母体-胎児間および母体-乳児間の物質輸送に着目した、

中枢神経系用薬の適正使用に向けた研究 - 古堅彩子 (北海道大学)

15:25-16:55 session2 座長：櫻井遊 (北海道大学)

長時間にわたるライブセル超解像イメージング法の開発

- 高倉栄男 (北海道大学)

海洋性天然物の全合成からケミカルバイオロジー研究へ

- 薬師寺文華 (北海道大学)

細胞内分解性ポリロタキサンを基盤とした細胞機能の制御

- 田村篤志 (東京医科歯科大学)

16:55-17:00 総評・閉会の辞 金田京介 (北海道薬科大学)

主 催：公益社団法人 日本薬学会 北海道支部

実行委員長：山田勇磨 (北海道大学大学院薬学研究院)

連絡先：011-706-3735 u-ma@pharm.hokudai.ac.jp